

ニューズレター ヘリンガー・インスティテュート・ジャパンより
News-letter from Hellinger Institute Japan

このメールは、これまでに小林真美（チェトナ小林）のファミリー・コンステレーション、システムミック・コンステレーションのワークショップにご参加いただいた方々に、お送りしています。

3-2014年7月

女子更生保護施設

～更生保護施設～再出発を支える人たち～

犯罪をした人や非行のある少年の中には、頼ることのできる人がいなかったり、生活環境に恵まれなかったり、あるいは、本人に社会生活上の問題があるなどの理由で、すぐに自立更生ができない人がいます。

更生保護施設は、こうした人たちを一定の期間保護して、その円滑な社会復帰を助け、再犯を防止するという重要な役割を担っています。

法務省のホームページから

http://www.moj.go.jp/hogo1/kouseihogoshinkou/hogo_hogo10-01.html

八王子の女子更生保護施設「紫翠苑」で、カウンセリングをさせていただいています。

私の役目は、覚せい剤依存や盗癖、リストカットなどの衝動を抱える人たちの、問題となる行動が繰り返されなくなるための手助けをすることです。

こちらには、少年院を出てこの施設に来たという10代の少女たちが多く、毎回、個人セッションでは自分の知識と経験、能力の限界まで駆使して向き合う

ことになります。

自分の10代の頃を振り返ると、
非行にこそ走りませんでした、
感情が不安定で、
私はずいぶん荒れていました。

全てが理不尽で、
いつも何かに怒っていたような気がします。
私の心にはやり場がなく、
私の心には行き場所がありませんでした。

それでも、私には両親が健在で、
生活環境は整っていました。

自分のすさんだ感情の原因は、
傍から見たら見当違いに映るものだった筈です。

荒れていても、
臆病だったので、
悪いとわかっていることに飛び込んでいく勇氣というか、
無鉄砲さはありませんでしたが。

その頃、
補導員という大人を、
何となくなんら理由もなく敵と見なし、
少年院に行くようなことをしていないにも関わらず、
そのような施設を行き場のない子供を理解せずに、
管理して、
がんじがらめにする、
灰色の四角い建物のように思い描いていました。

今思うと、
昔々の網走刑務所を想像していたのではないかと思います。

ホルモンバランスの不安定な時期の妄想は果てしがありません。

紫翠苑の先生、スタッフの方々と接し、
保護されて少年院に入った青少年たちがどのように変化していくものか、
そのお話を伺っていると、
私がかつて未熟な心に描いた少年院のイメージが、
ことごとく柔らかな色合いに塗り替えられていきます。

例えば十代で覚せい剤常習となってしまう少女たちがいます。

彼女たちの生まれ育った家庭環境に、
両親も揃い、
離婚もしていない、
経済的にゆとりもありながら、
何故ここに来なくてはならなかったのかと、
常識では理解できない例が稀にありますが、
多くの場合は、
幼い頃に両親が離婚し、
片方の親にそれ以来会ったことがない、
上手くいけば祖父母に育ててもらえるが、
そうでない場合は、
片親の新しい恋人の顔色を伺いながら生活をする、
または性的虐待を受ける、
里親の元に預けられるも、
そこでも虐待が待っている等、
無邪気な弱い幼い女の子が、
適切な保護が得られないとき、
どれほどの過酷な運命が待っていることか、
その瞬間のその子の抱えていた心細さや恐れを、

自分の感覚を開いて感じ取ったときには戦慄が走ることがあります。

そこに安心や、
安全を感じ取ることを可能にする秩序はありません。
普通の日常が無法地帯なのです。

子供たちが保護され、
場合によっては補導され、
少年院に送られたときに、
生まれて初めて誰かが見守ってくれる中、
秩序—明日も安全が想定できる状態—を経験する子たちがいます。

少年院で子供たちを見守り、
手助けする大人の先生方、
スタッフの方々の温かさに触れ、
人間の関わり合いを知るのだそうです。

かつての知っていた世界には、
どこにも居場所のなかった子たちが、
その世界は小さな世界で、
その世界のすぐ隣に大きな世界があることを知り、
そこには出入り自由なのだを知るのです。

小さな人形を使って、
10代の覚せい剤依存の少女のコンステレーションを立てたことがあります。
家族関係を人形に代理させて立てていくのですが、
その子の支えとなるリソースが全く見当たらない場合があります。

そのようなケースはここでは珍しくなく、
何人もの少女に見ることのできる現象です。

本人の代理となる小さな幼い女の子の人形が、

遥か遠くに距離を置いて立ち尽くし、
好き放題な方向を向いた大人の代理人の人形たちの隙き間で、
まるで氷の風吹きすさぶ荒野に見捨てられて立っているような、
そんな状況しか現れないことがあり、
私は途方に暮れることがあります。

一切のリソースが見当たらない時、
私はこっそり、
本人にはそれが何かを言わずに、
一つ、時に二つの人形を立てて、
それがあの方が良いか、
またはかえって悪く感じるかと尋ねることがあります。

そして、答えはほぼ100パーセント、
それがあの方が良い、
それがあの方が頭がスッキリする、
それを入れる方が少し温かい、
ないよりあの方が楽、
という答えが返ってきます。

~~~~~

少年院、  
保護施設、  
それら施設と連携する地域の人たち、  
保護司の方々、  
法務省、  
そして国

遥か遠い昔に、  
私が漠然と恐れ、  
訳もわからず嫌った「国」や、

いわゆる国家権力は、  
私たちを影から見守り、  
いよいよ困ったことが起きて、  
その子が世界から見捨てられたと自分を見限ってしまう前に、  
手を差し伸べ、  
支え、  
自分の足で立ち上がり、  
歩んでいけるように支援していると、  
遅ればせながら、  
大人になってからずいぶん時間の経過した私は、  
少年期に漠然と思い描き、  
どこか自分の奥底にすり込まれていたお国のイメージを、  
ここに来てようやく、  
本来の温かく優しい色合いに、  
根本的に塗り替えるにいたりました。

もちろん、国も全能の神ではありませんから、  
100%の確率で国民全員を適切に助けていると言うつもりはありません。

しかし、  
私の払う税金の一部がもしかしたら、  
そのような子供たちを助けていると想像すると、  
私は嬉しいのです。

私一人では決してできないことを、  
私の愛する国が、  
私の願いを叶えてくれています。

この子供たちを助けるためのシステムを、  
作り上げてくれているのです。

国がそこに生きる人々を愛し、  
紫翠苑のような機関が国の手足として、  
手を届かせ、  
守り、支える。

また、そこでカウンセリングをすることで、  
再犯率を下げることに少しでも貢献できるとしたらそれも嬉しく、  
それに対し、  
お国から報酬をいただくことのできる自分の仕事を誇らしく感じます。

そして、そのお国に税金を払うことで貢献している人たちに、  
恥ずかしくない仕事をしていると、  
認めていただけるようになりたいと願い、  
仕事を続ける日々を送っています。

~~~~~

支えの全くない子たちのコンステレーションで、
私がこっそり立てる何かの代理人の一つは、

「日本という国」

もう一つは
「神社」です。

どこにも居場所がなく、
どこにも行き場所の、
生き場所のなかった子たちにも、
国はいてくれる。

日本の神様は見守ってくれているのです。

~~~~~  
☆ 8月2日(土)、3日(日)の2日間、札幌でワークショップを開催します。  
詳細はこちらをご覧ください。

[http://www.hellingerinstitutejapan.com/schedule/2014\\_08sapporo.pdf](http://www.hellingerinstitutejapan.com/schedule/2014_08sapporo.pdf)

☆ 9月6日(土)、7日(日)の2日間、東京でワークショップを開催します。  
詳細はこちらをご覧ください。

[http://www.hellingerinstitutejapan.com/schedule/2014\\_09tokyo.pdf](http://www.hellingerinstitutejapan.com/schedule/2014_09tokyo.pdf)

☆ 9月27日(土)、28日(日)の2日間に、オーストラリアより精神科医  
のDr. クリス・ウォルシュを招き、  
「マインドフルネスとシステムミック・コンステレーション」のワークショップ  
を開催します。

詳細はこちらをご覧ください。

[http://www.hellingerinstitutejapan.com/schedule/chris\\_201409.pdf](http://www.hellingerinstitutejapan.com/schedule/chris_201409.pdf)

☆ 10月3日(金)～5日(日)の3日間に、トレーニング経験者と現トレー  
ニング生向けのDr. クリス・ウォルシュによる

「マインドフルネスとシステムミック・コンステレーション」のトレーニングを  
開催します。こちらは一般の方はご参加いただけません。

トレーニング経験者と現トレーニング生限定でご参加いただけます。

詳細はこちらをご覧ください。

[http://www.hellingerinstitutejapan.com/schedule/chris\\_tr201410.pdf](http://www.hellingerinstitutejapan.com/schedule/chris_tr201410.pdf)

※この文章はブログにも掲載したのですが、少しだけ加筆してあります。  
ブログです。

[http://blog.livedoor.jp/chetna\\_by\\_the\\_river/](http://blog.livedoor.jp/chetna_by_the_river/)



時々、ツイッターでもつぶやきます。 Chetnats  
<https://twitter.com/chetnats>

フェイスブックも、やってたりします。  
よかったら覗いてみてください。

<https://www.facebook.com/chetnamami.kobayashi>

小林 真美 (チエトナ小林)

ヘリンガー・インスティテュート・ジャパン

札幌オフィス：TEL:011-662-9576

<http://www.hellingerinstitutejapan.com/>

E-mail:info@hellingerinstitutejapan.com

千葉オフィス：市川市